

城山町二丁目第一地区再開発 小山市が組合設立認可 18年度着工、20年度完成へ

栃木県小山市は8日、JR小山駅西口で再開発を計画している「城山町二丁目第一地区市街地再開発組合」の設立を認可した。15日に組合の設立総会が開かれる。17年度中の権利変換計画認可、18年度の着工、20年度の完成を目指す。事業計画のコンサルタント業務と基本設計は梓設計が担当している。

事業予定地は城山町2丁目の敷地約0・4畝。JR小山駅西口から約250mの位置にある。再開発ビルは21階建て延べ約1万8600平方mの規模を想定。3階以上を計130戸の住宅とする。

参加組合員として旭化成不動産レジデンス、事業協力者として長谷工コーポレーションが参画している。同地区では、13年に再開

発の準備組合（増田清理理事）が立ち上がり、今年3月に再開発事業が都市計画決定されていた。

小山駅西口駅前広場近くの城山町3丁目でも再開発

の計画があり、準備会が早期の準備組合設立を目指している。

市では、人口の減少による空洞化が進む小山駅西口地区で、マンションを中心

とした市街地再開発を進めている。業となった再開発山・サクラ・1年3月に竣工

春日部市 実施設計・施工を一括発 本庁舎整備基本計画書

埼玉県春日部市は8日、「本庁舎整備基本計画」の素案を公表した。事業方式として、基本設計を先行して発注し、実施設計と施工を一括で行うデザインビルド（DB）方式を採用する。建設地については旧市立病院の敷地（中央7の2の1、

敷地面積1万5039平方m）が適当だとした。事業スケジュールでは、17年度に基本設計、19年度に実施設計・施工に着手。22年度の完成を目指す。

移転後の新庁舎の規模は延べ約1万5000㎡、2万1000平方mを想定して

いる。このうち立病院の東棟C造地下1階増設部を改修して利用する本設計の中で、本設計の中で本設計の費用は、億円を見込んで、事業方式に、来方式やPFIを検討したが、コスト削減の可能性から、DB方式とした。

群馬県 ICT活用を開始 国道354号板倉北川辺BPI工事など

群馬県は、県が発注する工事にICT（情報通信技術）を活用する取り組みを始めた。ドローン（小型無人機）による3次元（3D）測量や、ICT建機を使った施工などを取り入れる。

国道354号板倉北川辺

ドローンによる3D測量は、▽霧積ダム堆積土砂撤去工事（安中市）▽西毛広域幹線道路高崎西工区（高崎市）▽西毛広域幹線道路高崎西工区（安中市）の3件で本年度末までに順次、実施する。

県は、施工業者が自主的にICT建機による施工を進めている上信越自動車道川島バイパス（渋川市）の現場で前橋工業高校の生徒を対象にした「ICT工事現場見学会」を12日に開く。

パイパス工事（板倉町）では、盛り土の施工で12月下旬～17年1月上旬に3D測量、同1月中旬・下旬に3D設計、同2月中旬～3月中旬にICT建機施工、同3月下旬に3D施工管理、同3月下旬に3Dデータ納入を予定している。測量からデータ納品まで一貫して3Dデータを活用する。

ドローンやICT建機について学んでもらい、建設業への入職促進にもつなげた考えだ。

栃木県・のリフレッシュ工法協会が発足

会長に青山雅美氏

老朽化したのり面の吹き付けモルタルを補修・補強する「リフレッシュ工法」を栃木県内で普及させていくことを目的に、「栃木県・のリフレッシュ協会」が7日発足した。同日、宇都宮市の栃木県青年会館コン

初期に建設されたものには更新時期に来ているものが多い。そんな時代のニーズにこたえて開発されたのがこの工法となる。会員が一致協力し、普及に努めていきたい」とあいさつ。

青山会長は「建設業界は先行き不透明だが、既設構造物の補修・補強は今後も増加すると思われる。皆さまの協力を得て、のリフレッシュ工法の市場拡大につなげていきたい」と抱負を述べた。

の普及を図る。協会では今後、技術研修会を実施するほか、県をはじめ官公庁や建設コンサルタントへの工法のPR活動を行っていく。



あいさつする
青山会長

既設の吹き付けモルタルを取り壊さずに補修・補強できるため、産業廃棄物を減らせるのが特徴。

協会では今後、技術研修会を実施するほか、県をはじめ官公庁や建設コンサルタントへの工法のPR活動を行っていく。

かなが

全国クレ
支部（倉藤
レーター養
ーン塾）
建設重機協
日から5期
みは17年1
クレーン塾
宮前町8の
受け付ける
員に達し次
は同2月14
予見して、

震補強及び改修
334万円)
1万6000円
震補強及び改修
356万円)
1万4000円
公共建築室
3番第3期高層
（第1工区）
42万6000円)
10億1636万5000
14万7000円
修（排水機場ボ
ン
意3297万6000円)
7万8400円
排泥池・濃縮槽
意7681万4000円)
3万2600円
宅他施設整備事
務
施設再構築事務
計
測量業務
円)

一致協力し社会貢献

栃木県のリフレッシュ工法の協会設立総会 会長に青山氏



栃木県のリフレッシュ工法協会の設立総会が7日、宇都宮市の栃木県青年会館で開かれた。開会に当たり、ライト工業関連統括支店の久保敏彦副支店長は「会員が一致協力して工法の発展と普及に努め社会に貢献する」と設立趣旨などを述べ、協力を求めた。

同協会は特別会員の岩澤建設、栗山山本建設、三見建設、谷黒組、東武建設、増淵組の6社、正会員のライト工業栃木営業所（事務局）、賛助会員のアウラ・シーイーで構成する。会長には増淵組の青山

雅美執行役員常務が就任した。広報委員長に東武建設の阿久津和弘土木本部営業部長、技術委員長にライト工業関連統括支店の塩田弘実営業企画室長、事務局長にライト工業栃木営業所の村上昌史所長が就いた。

青山会長は「既設構造物の補強に関しては今後確実に増加する。同工法は既設法面の補修補強の一翼を担い、実績もあり、今後、右肩上がりの成長を成し遂げると確信している。皆さんとともにこの工法を育てていきたい」と力を込めた。写真。

2016年度は技術向上発展・広報活動、工法のPRと普及発展、宣伝活動とともに、協会の目的達成に必要な事業に取り組み。

青山会長は「既設構造物の補強に関しては今後確実に増加する。同工法は既設法面の補修補強の一翼を担い、実績もあり、今後、右肩上がりの成長を成し遂げると確信している。皆さんとともにこの工法を育てていきたい」と力を込めた。写真。

1年連続1位

引額など過去最高

収は38社で、赤字企業は2社にとどまった。

売上高100億円を超えた建設会社は前年度から1社増えて15社。同10億円以上は12社増の397社となった。上位50社のうち、売上高の増加率はベスト5は石井工業（香取市）、横河ブリッジ、村上工業（市川市）、関東建設（茂原市）、大城組（市川市）。

一方、減少率が大きかったのはテックプロジェクトサービス（習志野市）、一条工務店千葉（袖ヶ浦市）、京成建設（船橋市）、東海住宅（八千

28日まで2件受付

首都高速道路WTO 横浜環状北西線設備

首都高速道路公社は8日、WTO（世界貿易機関）対象となる高速横浜環状北西線他トンネル防災通信設備工事（通信設備工）と同線受変電設備工事（受変電設備工）の一般競争入札2件を公告した。ともに28日まで参加申請を受け付ける。通信設備工は技術提案交渉方式を採用し、2017年2月13日、受変電設備工は技術提案価格交渉方式を適用し、3月22日に開札する。概要は次のとおり（①参加資格②工期）。

▽通信設備工（横浜市青葉区下谷本町地先ほか）①電気通信工事の経営事項評価点数1100点以上の単体か、同一点が1050点以上の2社JV②19年9月30日まで。

▽受変電設備工（同市都筑区池辺町3179-1ほか）①電気工事の経営事項評価点数1100点以上の単体か、同一点が1050点以上の2社JV②同。

関内のまち づくりを考える

YSKRらが建築セミナー



20日まで2件受付

横浜市の小中 空調設備設置

横浜市建築局は9日、型指名競争入札2件を公告する。ともに小・中学校の教室空調設備設置その他に伴う実施設計で、設備（空気調和設備設計を全市の内企業（中小企業）象とする。参加申請は27日まで受け付ける。27日に開工する。2017年度の着工定している。

件名は「羽沢小学校ほか特別教室空調設備設置他工事に伴う実施設計

相模原に20ヶ所農場

24年供用開始

佐藤ファーム（神奈川県茅ヶ崎市）は、相模原市緑区に面積約20畝の「仮称」津久井農場を整備する。同市が8日、環境影響評価条例に基づき第1号案件として計画段階配慮書の縦覧を開始した。配慮書の作成はフジタが担当。農場造成や各種設備などを整備する。工事予定期間は2020年から24年まで。

っていたが、市街化が進展する環境が厳しくなった。1999年に休業した。酪農業の再開を目的に改良、酪農・肉用牛の併地域産業の振興を図る。計画では、約20畝の洗牛舎を始め、牛舎、搾乳舎、分娩舎、育成舎、肥育舎など料庫、堆肥舎、サイロ、

栃木県で協会設立

Ⅱのリフレッシュ工法Ⅱ 社会資本の保全に寄与

栃木県のリフレッシュ工法協会の設立総会が7日、栃木県宇都宮市のコンセーレで開催され、会長に青山雅美増渕組執行役員常務Ⅱ写真Ⅱが就任した。

同工法は、老朽モルタル吹付け面の補強や景観

シエクトの成果と今後の展開が発表され、質疑応答が行われた。

最後に、野崎秀則社長が、「2020年の目標達成に向け、重点化事業のビジョン、戦略を見据えながら、重点化プロジェクトを展開することが重要だ。また、収益性のあるプロジェクトモデルが多く創出されるよう、長期的な展望を持って『個の強化』『連携の強化』を着実に進めてほしい」と締めくくった。発表に対しては、出席した役員によるインターネット投票を行い、最優秀賞1件、優秀賞2件を表彰した。発表プロジェクトは次の通り。

「インフラ保全・運営管理」基礎自治体での包

の向上を目的とした「増厚吹付工」、地盤と既設モルタル背面の密着性を高める「空隙充填工」、地盤の強化を目的とした「地盤注入工」によって、のり面を安定させるもの。対策工は、老朽化の原因を排除・抑制可能な

括管理業務向けのグループ連携戦略と具体的なプロジェクト紹介（オリエンタルコンサルタンツ）▽空間情報技術（FOCUS等）を活用した既設橋梁計測の高度化（エイテック）▽FOCUSの適用事例と今後の活用検討（アサノ大成基礎エンジニアリング）

「防災」路線選定におけるLP図を用いたリスク評価の効率化（オリエンタルコンサルタンツ）▽LPデータを用いた堤防リスクポイント抽出作業の効率化（中央設計技術研究所）

「交通（高度化・総合化）」生活道路交通安全対策の事業戦略（エイテック）

「地域活性化」観光情報記言ナビゲーションプロジェクト



機能を有している工法の組合せを、のり面と背面地山状態によりタイプから適切な工法を選択する。

宮崎亀の甲太陽光発電所が竣工

NTTファシリティーズ

NTTファシリティーズの100%出資で設立



同施設の概要として、設置場所は宮崎県東諸県郡国富町大字三名字方蔵谷3170他、設置容量は3万2697キロワットで、想定年間発電量は約4万キロワット時となる。発電開始日は17年1月5日としている。

今回、時代のニーズに応えるとともに、社会資本の保全に寄与するため、栃木県のリフレッシュ工法協会が設立された。

会員は次の通り。

〈特別会員〉岩澤建設
▽栗山山本建設▽三晃建設▽谷果組▽東武建設
増渕組、〈正会員〉ライト工業栃木営業所（事務局）、〈賛助会員〉アウラ・シーイー

会社で、世界で100以上のゴルフコースデザインの実績を持つ。同覚書は、日本国内のゴルフコースおよび住宅などを併設するゴルフリゾートの新設事業に付

会長）は11月25日、都内の競技場でECFAスポーツ交流会「第7回ECFA杯フットサル大会」を開催した。今回、会員企業から13社0チーム約30人が参